9月1日は防災の日（関東大震災から90年）
自宅の備えを再チェック

阪神・淡路大震災での最も多い死亡原因は、家屋や家具類の倒壊による圧迫死で87.7%でした（警視庁調べ）。自分の命を守るため、建物の地震対策(※)をお考えください。また、「緊急地震速報」を見聞きしても、家の中に安全な場所がなく逃げ道もない状態とならないように、家具を置く向きや配置を見直し、さらに固定することで「安全空間」を確保することが大切です。

※ 市では、木造住宅の耐震診断や耐震補強に対して補助金を設けています。また、家具の転倒防止金具を取り付けることが困難な高齢者のみの世帯などを対象とした事業や、その他無料の簡易耐震診断、リフォーム相談などを実施しています。詳しくは建築指導課にお問い合わせください。

テレビの取扱説明書に転倒防止方法についての説明がある場合は、それに従ってください

主なメーカーの冷蔵庫の後ろ側の上部にはベルトの取り付け口や取っ手があります

（内閣府「みんなで減災」より）

非常食を備蓄するコツは　災害時に活用できる食材を日常的に用意すること

保存期間の長い食材を普段から7日分以上用意しましょう。米や餅、塩やしょうゆ・味噌などの調味料、うどん・そばなどの乾麺や海苔、ドライフルーツといった乾物類、缶詰、瓶詰を、消費したら買い足す方法も有効です。災害時は、まず冷蔵庫内の食材を消費します。チーズや納豆など、調理をしなくても食べられる食材は強い味方になります。

特別警報が発表されたら 身を守るために最善を尽くしてください

気象庁はこれまで、大雨、地震、津波、高潮などにより重大な災害の起こるおそれがある時に、「警報」を発表して警戒を呼び掛けていました。

これに加え、8月30日㈮以降は、「警報」の発表基準をはるかに超える豪雨や大津波などが予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、新たに「特別警報」を発表し、最大限の警戒を呼び掛けます。最近では、8月9日の秋田県と岩手県の大雨がこの発表基準に相当します。

特別警報が出た場合、周囲の状況や市から発表される避難指示・避難勧告などの情報に留意し、ただちに命を守るための行動をとってください。

9月5日㈭11時～（1分間）「かながわシェイクアウト」実施！

防災行動訓練として、県内で一斉にシェイクアウト訓練を行います。家庭や職場、学校などで1分間、自分の身を守る訓練を行ってください。9月5日に実施できない場合は、前後2週間の間で行ってください。また、県HPから事前に参加登録をお願いします。

※ 市では防災行政用無線の放送は行いません

安全行動の1－2－3

DROP! ドロップ！　COVER! カバー！　HOLD ON! ホールド・オン！

①ドロップ：姿勢を低く！
②カバー：体・頭を守って！
③ホールド・オン：揺れが収まるまでじっとして！

9月11日㈬ 防災行政用無線を使った 全国瞬時警報システム（J－ALERT）の試験放送を実施！

9月11日の11時頃と11時30分頃に防災行政用無線から消防庁による全国瞬時警報システムの試験放送をします。放送予定内容は次のとおりです。

「これは、試験放送です」（3回）→「こちらは防災ちがさきです」→（下り）チャイム

災害に、「1日前に戻れたら」はありません。今日来るかもしれない災害に備えてください

災害に強いまち茅ヶ崎をめざして

地域防災力の強化

市では現在、地域防災力のさらなる強化を目的として、「自主防災組織活動の手引き」の作成に取り組んでいます。この手引きをもとに、自主防災組織のみなさんが自分たちの地域特性等を踏まえながら、実効性のある独自の「活動マニュアル」を作り上げ、平常時に取り組むべき事項や災害発生時の活動などを、さらに具体的に考え取り組んでいただくことが、地域防災力の強化につながるものと考えています。

市民のみなさんとともに

防災対策に終わりはありません。引き続き強化すべき事項や新たな課題など、まだまだ取り組むべき対策はつきません。

市民のみなさんとともに、「災害に強い茅ヶ崎」をつくり上げていきます。

どうなってるの？ 東日本大震災以降の防災

茅ヶ崎市防災対策強化実行計画の成果を報告します

23年6月1日～25年5月31日までの2年間を計画期間とし、「茅ヶ崎市防災対策強化実行計画」に取り組んできました。この実行計画は、東日本大震災という未曽有の地震と津波の教訓、そして本市における初動体制の課題などを踏まえ、庁内で抽出した実施課題504項目からなります。

25年5月末現在での達成度は100%（継続して対応すべき項目も含む）になりました。23年6月補正予算～25年当初予算までの予算総額は4億2458万6000円でした。この2年間の取り組みを、対応事業別に報告します。

【防災対策課防災危機担当】

執務空間・備蓄資機材の整備　49項目　1億3090万円

総合体育館地下の倉庫

災害用トイレ処理セット

真空パック毛布

トイレや更衣室に活用できるポータブルテント

●備蓄資機材の整備

大規模の災害に備えて、真空パック毛布・ポータブルテント・情報収集セット・災害用トイレ処理セット・飲料水・おむつ・ブランケットアルミシートなどの備蓄資機材を整備しました。

〈その他の事業〉●庁舎内書棚等転倒防止対策　●防災対策課災害対策活動スペースの確保

その他の対策　68項目　1037万4000円

●茅ヶ崎市液状化ハザードマップが完成

従来のマップよりも精度をあげた最新の「茅ヶ崎市液状化ハザードマップ」を市HPに公開しました。液状化が起こる仕組みや想定地震別揺れやすさマップ・液状化危険度などを掲載。あわせて地盤の調査方法や液状化への備えなどについても解説しています。9月初旬頃からは市内公共施設などでも配布します。

※ このマップは液状化の傾向を示すものであり、「液状化の可能性が高い」地域などで、必ず液状化することを示したものではありません

〈その他の事業〉●来庁者用ヘルメットの整備　●住宅被害調査用備品の整備

液状化ハザードマップ

停電対策　59項目　3300万4000円

小出支所の非常用電源設備

●小出支所に非常用電源設備を設置

北部地域の拠点である小出支所に非常用電源設備を設置しました。

〈その他の事業〉●窓口業務・公共施設のランタン等備蓄品を整備　●自転車駐車場等に発電機の整備　●エンジンポンプの整備

津波対策　20項目　3752万9000円

津波一時退避場所の表示

●津波一時退避場所の確保

協定締結を進めてきた津波一時退避場所は153か所になりました（8月1日現在）。

〈その他の事業〉●津波一時退避場所用備蓄資機材の整備　●茅ヶ崎市津波ハザードマップ改訂版・ハンドブックの作成　●日本サーフィン連盟湘南茅ヶ崎支部と津波避難に係る協定を締結　●オレンジフラッグの作成　●サザンビーチちがさき海水浴場避難誘導マニュアルの作成　●津波対策避難訓練の実施　●海面監視カメラの設置

防災体制の強化　84項目　5077万4000円

大規模災害の発生を想定した災害対策本部運営訓練（24年12月21日実施）

●業務継続計画の策定・災害対策本部運営訓練の実施
●地域防災計画の見直し

25年2月、災害時に優先的に実行する業務を整理した「茅ヶ崎市業務継続計画震災編」を策定。同年3月、市の防災体制の根幹となる「茅ヶ崎市地域防災計画地震災害対策計画」を修正しました。

〈その他の事業〉●災害対策本部組織の機能強化　●防災担当参与の登用　●被災者再建支援システムの導入　●各部応急対策活動マニュアルの見直し　●災害対策本部活動スペース・活動用物品の整備

情報の受伝達・連絡体制の強化　161項目　7142万1000円

●新型防災ラジオの開発

防災行政用無線の難聴対策として、放送内容を伝える新型防災ラジオを開発しました。

〈その他の事業〉●防災行政用無線屋外拡声子局の増設・修繕　●MCA無線の増設　●トランシーバーの配備（市内公立小・中学校32校）　●緊急速報メールの運用開始　●tvkデータ放送を活用した災害情報の伝達

※ 新型防災ラジオの有償配付時期・方法については本紙11月1日号に掲載予定

新型防災ラジオ（イメージ図）

消火・救助、避難誘導体制の強化　32項目　6987万9000円

移動式ホース格納箱を使用した消火訓練

移動式ホース格納箱

●クラスター対策として、移動式ホース格納箱を整備

大規模災害時に初期消火し延焼を防ぐため、市民の方々が活用できる移動式ホース格納箱を各自主防災組織に配備。地域防災力の向上を図ります。

〈その他の事業〉●消防活動用小型軽量ポンプ・ガソリン缶・ライフジャケットの整備　●緊急消防援助隊装備品・食糧・燃料の整備　●レーザー測距双眼鏡の配備

多機能型防災倉庫

避難所などの整備　31項目　2070万5000円

●避難所運営マニュアル改訂版の作成

地域や学校の特性によって異なる避難所運営上の課題について、市、学校、地域で話し合い、円滑に避難所運営を行えるよう、学校ごとのマニュアルを作り上げていきます。

〈その他の事業〉●特設公衆電話の設置（市内公立小・中学校32校）　●防災倉庫の整備　●災害時保健師活動マニュアルの作成　●応急危険度判定活動資機材の整備　●帰宅困難者対策用備蓄品等の整備

茅ヶ崎の身近な自然　ジャゴケ

写真・文／文化資料館自然資料整理グループ

ヒメジャゴケ

ジャゴケ

◎どんな植物？

日本ではジャゴケ科のコケは「ジャゴケ」と「ヒメジャゴケ」の2種存在することが知られています。

「ジャゴケ」の名は、葉状体（※1）の表面に蛇のうろこのような模様があることから名付けられました。色は濃緑色（時に赤みを帯びる）で鈍いツヤがあり、灰白色に盛り上がった模様の中央には気室孔（※2）という穴があります。臭いが独特で松葉臭とキノコ臭のような青臭さがあります。

もう1種類のジャゴケ科の「ヒメジャゴケ」は、ジャゴケを小型にしたやわらかい感じのコケです。秋になると葉状体の先に無性芽（※3）をつけ、赤みを帯びます。

◎どこで見られるの？

日本全国に広く分布し、低地から亜高山帯までの湿った地面や岩の上に見られます。市内では市街地の湿った庭などでも見られます。赤羽根や県立茅ケ崎里山公園（柳谷）の道路に面した土の斜面などでは大きな群落が観察できます。

※1 葉状体…茎と葉の区別がなく全体が平らな葉状のもの
※2 気室孔…気室に通じる小さい孔。気孔と違って開閉しない
※3 無性芽…植物体の組織の一部または細胞が繁殖するための器官

【文化資料館☎(85)1733】

DV…もしかしたら、されているかも？ しているかも？

こんなことも デートDV？

身体的暴力…腕などを強くつかむ　つねる　なぐる　ける
精神的暴力…いやな呼び方をする　傷つく言葉をいつも言う　無視する　フキゲンになる
行動の制限…携帯のメールや電話をチェックする　行動や服装をチェック・指示する
性的暴力…無理やり性的行為をする　避妊に協力しない
経済的暴力…お金を返さない　無理やり物を買わせる

男子が被害にあうこともあります

出典：超カンタンデートDVの基礎知識（制作エンパワメントかながわ）

「DV（domestic violence）」は、配偶者や恋人など親密な関係の男女間に起こる暴力で、特に交際相手による暴力は「デートDV」といわれています。例えば「ウザい」などひどい言い方をされたり、物を投げつけられたり、記念日にはいつも高価なプレゼントを買わされたり。10歳代～20歳代に「交際相手がいた（いる）」方でDVの被害を受けたという割合は約1割に。そのうち半数近くの方が「どこにも相談はしていない」と回答しています（24年4月内閣府「男女間における暴力に関する調査報告書」より）。支援者としてできることを一緒に考えてみませんか。

【男女共同参画課男女共同推進担当☎(57)1414】

保護者向けデートDV予防ワークショップ

交際相手とのよりよい関係について考える
日時 10月12日㈯10時～12時
講師 NPO法人エンパワメントかながわ
対象 保護者、教育関係機関の支援者など40名〈申込制（先着）〉
申込 10月9日㈬までにFAX045(323)1819に氏名・連絡先・開催日を記入し、同法人へ（✉kanagawa-cap-miracle@isis.ocn.ne.jpも可）
ほか かながわボランタリー活動推進基金21協働事業

DV防止講座　女性の人権に関する朗読劇と講演会

第1部　朗読舞台 ひまわり～DVをのりこえて
講師　市民劇団オンリーワン　共催　県立かながわ女性センター
第2部　ストレスってなに？～ちょっと疲れたあなたに
講師　白川美也子さん（精神科医師）　女のホットライン湘南主催「15th記念事業」
日時 10月26日㈯ 第1部13時～14時　第2部14時10分～16時
定員 60名〈申込制（先着）〉
申込 9月2日㈪～☎(57)1414で男女共同参画課へ
ほか 託児未就学児10名〈申込制（先着）。10月18日㈮まで〉

場所 男女共同参画推進センター